

# 中国語図書WINE書誌データの試験入力に関する報告

高木 理久夫（図書課）

## 1．試験入力に到るまで

図書館のWINEシステムが稼動した当初から、中国語図書の書誌データも入力してほしいという要望は、利用者からたいへん強くあった。それでも入力がおこなわれなかった理由はふたつあった。ひとつは、文字の問題で、中国の簡体字と台湾の国字いわゆる繁体字をコンピュータ上で表示できないこと、もうひとつは、書誌データの問題である。本学図書館では外国語図書のWINE書誌データ入力は、OCLC（註1）のデータを活用しておこなわれており、中国語図書の場合も同様に行けると思われたのだが、当初中国語図書の書誌データは、ウェード式のローマ字表記が標準であり、日本の図書館員にとっては、とても使いこなせるデータではなかった。それが3年ほど前までの状況だった。それからしばらくして、一気に進展の時を迎えた。Unicode対応のWindows 2000の登場、中国語ワープロは改良を重ね、日本でも中国語の画面上表記や入力がそれなりにできるようになってきた。OCLCの中国語図書書誌データも簡体字、繁体字の漢字表記がそなわり、ローマ字表記もピン音式につけかえられた。中国語図書書誌に関してもOCLCのデータを利用したコピーカタログングがやっと現実的なものとなった。この状況をふまえ、学術情報課、整理課の担当者との協力しながら、2001年10月から中国語図書のWINE書誌データの試験入力を開始した。

## 2．現時点における入力方法

現行のWINEはOCLCと同じEACCという文字コードをもち（註2）それに対応する形で日本製パソコンに搭載されている文字コード、Shift-JISを使用するように設定されている。しかし簡体字、繁体字はShift-JISでは表示できない。その解決策として業務用パソコン1台を、EACCをUnicodeに変換できるように設定した。UnicodeであればShift-JISで使用する文字もカバーできるからであ

る。EACCをUnicodeに対応させるため、OSはWindows 2000とし、これにChinese Writer V.5と日中之星IVという2つの中国語ワープロソフトを搭載し、フォント、IMEの動作環境を整え、[表1]のような作業内容に対応するアプリケーション・ソフトを設定した。OCLC CJK software version 3.11はOCLCのデータベース中にあるC J K文字（Chinese, Japanese, Korean）のフィールドを表示・入力できる目録作成用のソフトである。OCLCのローカル作業ファイルから送り込まれたEACCの文字コードデータをWINE上でUnicodeデータに変換し、中国語を画面上に表示したり、入力したりできるように工夫されたソフトがAnzio Win 12.5である。

これらのソフトを駆使したふたつの作業工程を経て、中国語図書の書誌データとそれに付随する所蔵データがWINE上に反映される。[図1]は、Windows 2000上での画面表示である。図書の検索は、書名、著者の場合、漢字表記とピン音表記、どちらを入力しても検索可能である。漢字検索は当用漢字で入力しても、それに対応する簡体字もしくは繁体字をもつデータにヒットする。なお試験データは現行WINEでも見ることができるが、Shift-JIS設定になっているため、表示画面が文字化けしている場合がある。

## 3．データの現況と問題点

2001年10月から2002年10月までに試験入力された中国語図書データ数は、次のとおりである。

書誌件数	5,842件
図書冊数	10,276冊

入力対象は、

（1）新規受入図書：2001年10月以降。

（2）受入整理済図書

であり、新規受入図書に関しては、OCLCにデータがあるものについて書誌データを作成した。受入整理済図書の入力、すなわち遡及入力は、『中国

語図書・ハングル図書目録14』に収録されている1999年～2000年度整理分の図書データの入力をおこなった。

問題点として、技術面ではAnzio Win による文字表示が、ある目録作成作業画面においてうまく機能しない場合がまだある。また書誌データの管理面では、従来日本語書誌データと外国語書誌データで分けて典拠管理をしているが、中国語図書書誌データの場合は、どのように維持していくかという問題がある。

#### 4. 今後の展望

現在、図書館の端末機の文字コード設定は前述のようにShift-JISコードであり、中国語図書書誌データが完全に表示される状態ではないので、中国語図書書誌データ入力はいくまでも「試験入力」の状態である。しかし、データの蓄積は急務である。担当者としては、新規受入された中国語図書に関しては、OCLCにデータがあれば、WINEへの入力を受け入れた時点でおこなうよう今後とも

努めていきたい。遡及入力に関しても、できるかぎりおこなっていきたい。現状では、コピーカタログリングからもれた図書の書誌データを、オリジナル入力等で作成していくことは非常に厳しいが、将来的に体制が整えば可能となるはずである。

(註1) OCLC (Online Computer Library Center, Inc.) : アメリカを中心として世界各国の大学や研究機関で構成された非営利・メンバー制のライブラリーサービス機関であり、世界最大の書誌ユーティリティを提供している。米国議会図書館、大英図書館等世界82カ国、4万館以上の図書館が参加。本部は米国オハイオ州ダブリン(紀伊國屋HP「OCLCとは」参照)。

(註2) EACC (East Asian Character Code for bibliographic use) : アメリカのRLG (Research Library Group) が東アジア文献の目録作成のために作成した文字コード。なお、WINEにおける文字コードについては『ふみくら』No.64の藤巻俊樹「文字コードについて」を参照。

表1

手順	作業内容	利用するコンピュータ・ソフト
1	OCLCのCJKデータベースに接続、当該図書の書誌データを検索し、ヒットしたデータをWINEへ送り込む。	・ OCLC CJK software version 3.11
2	WINEへ送り込まれたデータを修正する。所蔵データ等を付加する。	・ Anzio Win 12.5

図1  
書名「零陵県志」と入力し、検索実行。

TITLE

零陵県志

View Entire Collection

Search

Title

Lingling xian zhi / Hunan sheng Yongzhou, Lengshuitan shi di fang zhi lian he bian zuan wei yuan hui bian.  
零陵県志 / 湖南省永州, 冷水滩市地方志联合编纂委员会编.

Imprint

Beijing : Zhongguo she hui chu ban she : Xin hua shu dian Beijing fa xing suo jing xiao, 1992.  
北京 : 中国社出版社 : 新华书店北京发行所经销, 1992.

LOCATION	CALL #	STATUS
A-CENTRAL/B2F CHINESE	F292.2 00082 60	ON THE SHELF

Edition

Di 1 ban.  
第1版.

Descript

3, 6, 32, 718 p., [21] p. of plates : col. ill., folded map ; 27 cm.

Subject

Lingling Xian (China) -- History -- 19th century.  
Lingling Xian (China) -- History -- 20th century.  
零陵縣(China) -- History -- 19th century.  
零陵縣(China) -- History -- 20th century.

Class

292.226 njb/9  
DS793.L5265 L55 1992

Alt author

Hunan sheng Yongzhou, Lengshuitan shi di fang zhi lian he bian zuan wei yuan hui.  
湖南省永州, 冷水滩市地方志联合编纂委员会.

ISBN

7800884139